

の⑫ がんによる外見の悩みに寄り添う

# サポーターセンター開設を実現

県政報告  
「実績」で勝負

公明党 鈴木ひでし

今や2人に1人ががんにかかると言われる時代。手術や抗がん剤、放射線など、治療法は年々進歩していますが、一方で手術痕や髪・まつ毛・眉毛の脱毛、爪や皮膚の色など、外見にさまざまな変化をもたらします。

方角のないことだと覚悟してセンターを立ち上げました。

いっても、患者さんやご家族に大きなショックを与え、

ときには治療への意欲も失

うほど深刻な問題です。

国立がん研究センターで

は、このような不安や苦痛

を少しでも和らげようと、

「ピアランス」に関する支援

を少しでも和らげようと、

「ピアランス」に関する支援

を少しでも和らげようと、

「ピアランス」に関する支援

を少しでも和らげようと、

「ピアランス」に関する支援

を少しでも和らげようと、

「ピアランス」に関する支援

「ピアランスサポーターセンター」が開設されました。

これまでも県立がんセンターでは個別に相談やケアを行ってきましたが、今後はピアランス支援の専任スタッフを中心に、医師や看護師、薬剤師などが連携

して、専門チームで患者さん

を支えています。

また、

患者さんやご家族が気軽に相談できる専用スペースの充実も図っていきます。

また、

患者さんやご家族が気軽に相談できる専用スペースの充実も図っていきます。

また、

患者さんやご家族が気軽に相談できる専用スペースの充実も図っていきます。

また、

2003年神奈川県議会議員初当選。  
公明党神奈川県本部副代表  
第109代神奈川県議会副議長  
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>  
FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>  
ml\_suzuki-ctl@tabo2.sere.jp



「ぜひとも実現していきたい」との方針を示し、ついこの4月、県立がんセンターに対し黒岩知事は、このセンターが患者さんの「生きる」気持ちを支えるものとなるよう、しっかりと見守ってまいります。